

厚生労働大臣 殿

国立大学法人高知大学
相良 祐

高知大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。
記

- 1 高度医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	28人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従事者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	169人	133人	289.4人	看護業務補助	34人	診療エックス線技師	人
歯科医師	6人	7人	12.1人	理学療法士	8人	臨床検査技師	34人
薬 剤 師	17人	7人	24.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	1人	その他	人
助 産 師	5人	3人	8.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看 護 師	360人	64人	414.9人	臨床工学技士	7人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	人	8人	8.0人	栄 養 士	人	その他の技術員	2人
歯科衛生士	1人	1人	2.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	62人
管理栄養士	5人	人	5.0人	診療放射線技師	27人	そ の 他 の 職 員	38人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算定して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	481.5人	9.3人	490.8人
1日当たり平均外来患者数	887.5人	52.2人	939.7人
1日当たり平均調剤数	624.4剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類 (医科)	承認	取扱い患者
・顔面骨、頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープン MRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗癌剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・特発性男性不妊症・性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・遺伝子コプロポルフィリン症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・低悪性非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block (MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定および病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いた癌ワクチン療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	5人
・頚椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ケラチン病遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抹消血管細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抹消血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類 (医科)	承認	取扱い患者
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・一絨膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類 (歯科)	承認	取扱い患者
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・レーザー応用によるう蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工内耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	33 人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	9 人
・多発性硬化症	13 人	・ウェゲナー肉芽腫症	1 人
・重症筋無力症	22 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	14 人
・全身性エリテマトーデス	103 人	・多系統萎縮症	14 人
・スモン	人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人
・再生不良性貧血	15 人	・膿疱性乾癬	6 人
・サルコイドーシス	42 人	・広範脊柱管狭窄症	3 人
・筋萎縮性側索硬化症	15 人	・原発性胆汁性肝硬変	18 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	97 人	・重症急性膵炎	6 人
・特発性血小板減少性紫斑病	51 人	・特発性大腿骨頭壊死症	25 人
・結節性動脈周囲炎	11 人	・混合性結合組織病	11 人
・潰瘍性大腸炎	66 人	・原発性免疫不全症候群	4 人
・大動脈炎症候群	7 人	・特発性間質性肺炎	8 人
・ピュルガー病	5 人	・網膜色素変性症	10 人
・天疱瘡	13 人	・プリオン病	人
・脊髄小脳変性症	28 人	・原発性肺高血圧症	3 人
・クローン病	29 人	・神経繊維腫症	6 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・亜急性硬化性全脳炎	2 人
・悪性関節リウマチ	7 人	・パッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1 人
・パーキンソン病	64 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧症)	4 人
・アミロイドーシス	3 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4 人
・後縦靭帯骨化症	37 人	・副腎白質ジストロフィー	1 人
・ハンチントン舞踏病	人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月 6回 程度		
剖検の状況	剖検症例数	44 例	剖検率 20.5 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託者元	
難治性膵疾患に関する調査研究	西森 功	第一内科	2,000	補委	厚生労働省科学研究費
難知性の肝・胆道疾患に関する調査研究	大西 三朗	消化器内科学教室	35,000	補委	厚生労働省科学研究費
消化器癌細胞の増殖における炭酸脱水酵素関連蛋白の機能解析	西森 功	第一内科	1,100	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)マウスの確立とその病態学的検討	小野 正文	第一内科	1,400	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
原発性胆汁性肝硬変の進展における胸腺細胞分化異常の役割	大西 三朗	消化器内科学	1,100	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	橋本 浩三	内分泌代謝・腎臓内科学教室	1,400	補委	厚生労働省科学研究費
新しいCRE family peptidesとストレス応答機構の機能的解析	岩崎 泰正	第二内科	200	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
新規バゾプレシン/アンジオテンシン・デュアル受容体のクローニングと機能解析	岩崎 泰正	第二内科	1,300	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
ATL発症高危険群の長期追跡と発病予防の検討	田口 博國	血液・呼吸器内科学	1,000	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
ウイルス関連造血器腫瘍におけるメチル化遺伝子の解析および新規治療法に関する研究	大畑 雅典	第三内科	2,400	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
Aktシグナルのブロックによる造血器悪性腫瘍の制御の試み	池添 隆之	第三内科	1,100	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
効果的転倒予測技術の開発と転倒予防介入による生活機能の持続的改善効果に関する縦断研究	西永 正典	老年病・循環器・神経内科学	1,500	補委	厚生労働省科学研究費
CGAの導入・指導・データ解析とその評価	西永 正典	老年病・循環器・神経内科学	3,150	補委	医療法人慈恵会中村病院
分担研究課題名:地域・民間病院における高齢者総合機能評価の普及に関わる研究	西永 正典	老年病・循環器・神経内科学	1,300	補委	国立長寿医療センター
地域在住高齢者の抑うつ頻度とその危険因子—総合的機能評価による縦断的検討—	西永 正典	老年病・循環器・神経内科学	1,200	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
心筋症の病因と病態形成機構の究明に関する研究	土居 義典	老年病・循環器・神経内科学	900	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
地方都市における輪番体制の意義と夜間救急診療の実態解明に関する研究	脇口 宏	小児科	1,552	補委	高知市休日夜間急患センター 平日夜間小児急患センター
ヘルペスウイルス感染の胎児・小児期における実態把握と発症機構に関する研究(血清疫学調査と臨床解析)	脇口 宏	小児思春期医学	1,500	補委	国立成育医療センター
小児の難治性EBウイルス感染症に対する効率的ペプチドワクチンの新規開発	細川 卓利	小児思春期医学	1,200	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託者元
慢性活動性EBウイルス感染症に対する包括的新規治療戦略に関する研究	脇口 宏	小児思春期医学	2,780	補委 文部科学省・学術振興局科学研究費
分担研究課題名:アルツハイマー病の臨床データベース構築と治療法の標準化	上村 直人	神経科精神科	1,000	補委 国立長寿医療センター
MCIを対象としたアルツハイマー型痴呆の早期診断に関する研究(J-COSMIC)	上村 直人 福本 光孝	神経科精神科 放射線部	126	補委 長寿科学振興財団
精神科在院患者の地域移行、定着、再入院防止のための技術開発と普及に関する研究	井上 新平	神経精神科学	800	補委 国立精神・神経センター
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究	下寺 信次	神経精神科学	450	補委 国立精神・神経センター
認知科学的手法による高齢ドライバーの運転能力評価プログラムの開発	上村 直人	神経精神科学	2,000	補委 科学技術振興機構
医療計画策定のための精神科医療の現状分析	加藤 邦夫	神経精神科学	950	補委 高知県知事
中枢神経シナプス可塑性における脂質伝達物質の役割	加藤 邦夫	神経精神科学	1,400	補委 文部科学省・学術振興局科学研究費
平成18年度地域新生コンソーシアム事業「保湿不織布による介護用ケアシートの開発」	小玉 肇	皮膚科学	2,051	補委 財団法人 四国産業・技術振興センター
局所進行癌の新しい過酸化水素増感放射線治療における剤形・投与法の確立	小川 恭弘	放射線医学	2,000	補委 科学技術振興機構
ヒト末梢血リンパ球の放射線誘発アポトーシスにおける新しい経路の証明	小川 恭弘	放射線医学	3,000	補委 文部科学省・学術振興局科学研究費
慢性難治性疼痛患者の脳局所血流とブドウ糖代謝に関するポジトロン核種による解析	福本 光孝	放射線部	2,974	補委 文部科学省・学術振興局科学研究費
手術部位の薬剤耐性黄色ブドウ球菌感染症に対するファージ溶菌因子を活用する新制御法	小林 道也	外科学(外科1)	2,540	補委 文部科学省・学術振興局科学研究費
海洋深層水の生理活性因子の解明	笹栗 志朗	外科学(外科2)	2,000	補委 科学技術振興機構
電圧印加による新たな生体材料凍結法の開発	前田 博教	外科学(外科2)	2,000	補委 科学技術振興機構
子宮内膜症腹腔内マクロファージの免疫シナプス形成からみた抗原提示能の評価	山本 寄人	産科婦人科	1,950	補委 文部科学省・学術振興局科学研究費
重度の起立性低血圧による寝たきりを防止するバイオニック血圧制御装置の要素技術の開発及びその臨床応用	谷 俊一	運動機能学	21,675	補委 厚生労働省科学研究費
高齢者の腰痛症に係るより効果的かつ効率的な診断、治療、介護及びリハビリテーション等の確立に関する研究	武政 龍一	整形外科学	2,000	補委 厚生労働省科学研究費
虚弱高齢者のための児童・生徒参加型高齢者健診と運動器リハモデルに関する研究	谷 俊一	整形外科学	1,200	補委 黒潮町
NF-κB阻害薬による重症アレルギー性結膜疾患の発症抑制	福島 敦樹	眼科学	1,900	補委 独立行政法人科学技術振興機構 JSTサテライト高知
塩酸オロパタジン点眼液0.1%の有効性及び安全性の検討	福島 敦樹	眼科学	1,050	補委 日本アルコン株式会社

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託者元	
リボスチン点眼液の遅発相における効果	福島 敦樹	眼科学教室	2,100	補委	参天製薬株式会社
T細胞活性化の選択的制御によるアレルギー性結膜炎の重症化の抑制	福島 敦樹	眼科学	1,100	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
前庭機能異常に関する調査研究	竹田 泰三	耳鼻咽喉科学教室	15,000	補委	厚生労働省科学研究費
水チャネルの内耳局在と内耳水代謝に対する役割に関する研究	竹田 泰三	耳鼻咽喉科学	1,500	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
悪性脳腫瘍に対する遺伝子分子生物学的手法を用いた新たな治療戦略	清水 恵司	脳神経外科学	4,100	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
転写因子Olig2下流因子の同定とその遺伝子導入に基づく神経膠芽腫治療法の開発	清水 恵司	脳神経外科学	1,950	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
難治がんの総合的な対策に関する研究	執印 太郎	泌尿器科学教室	5,000	補委	厚生労働省科学研究費
抗アンドロゲン剤治療不応性のヒト前立腺癌のマイクロアレイ解析	執印 太郎	泌尿器科学	3,500	補委	文科省(JST・東大)
SNP解析を用いた腎細胞癌感受性遺伝子の解析に関する研究	山崎 一郎	泌尿器科	2,600	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
腎癌におけるメチル化遺伝子の網羅的同定に基づく腎癌腫瘍マーカーと治療法開発の検討	鎌田 雅行	泌尿器科学	800	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
フォンヒッペルリンドウ遺伝子が関与する腎細胞癌骨転移特異的遺伝子発現の解析	辛島 尚	泌尿器科学	2,160	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
マイクロアレイを用いたPSAに代わる前立腺癌新規腫瘍マーカーの探索および臨床応用	蘆田 真吾	泌尿器科	900	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
口腔癌患者の核酸代謝酵素mRNA発現に関する母集団調査	山本 哲也	歯科口腔外科学	100	補委	大鵬薬品工業株式会社 徳島研究センター育薬研究所
扁平上皮癌におけるレドックスシステムによるHIF-1 α の発現制御機構の解析	山本 哲也	歯科口腔外科学	9,800	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
口腔癌のHIF-1 α 発現と抗癌剤・放射線に対する抵抗性に関する分子生物学的検討	笹部 衣里	歯科口腔外科	3,300	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
緑茶と唾液腺機能—緑茶と唾液分泌量および唾液中抗菌蛋白質量に関する基礎的研究	鎌谷 宇明	歯科口腔外科	3,000	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
最先端医学情報基盤の構築に関する研究開発と調査	武内 世生	総合診療部	5,000	補委	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 長(国立情報学研究所)
小児急性リンパ性白血病における遺伝子解析および新規腫瘍抑制遺伝子の同定	武内 世生	総合診療部	2,912	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
コスタリカ(中米諸国)におけるヘリコバクター・ピロリ感染と消化管疾患の病態解析	CON CHIN,S.A.	検査部	1,100	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
難治性起立性低血圧の治療のための非侵襲的人工動脈圧反射装置の開発	山崎 文靖	検査部	14,980	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費
赤血球内クレアチンを用いた血管内溶血の早期診断	杉浦 哲朗	病態情報診断学	600	補委	文部科学省・学術振興局科学研究費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託者元
成人T細胞白血病ウイルスにおける新たな病原性発現制御機構の検討	今村 潤	輸血部	500	補委 文部科学省・学術振興局 科学研究費
神経移行に伴う脳・脊髄機能再構築と伝達の機能再生に関する研究	山中 紀夫	手術部	900	補委 文部科学省・学術振興局 科学研究費
悪性胸膜中皮腫に対するMCI-186を用いた新たな分子標的治療法の開発	割石 精一郎	集中治療部	2,900	補委 文部科学省・学術振興局 科学研究費
高齢者における廃用症候群(生活不活発病)の実態調査と生活機能向上のための運動療法の開発	石田 健司	リハビリテーション部	1,000	補委 厚生労働省科学研究費
ピワ種子由来エキスを応用した外用・美容健康剤の開発	西岡 豊	薬剤部	6,992	補委 株式会社テクノネットワーク 四国
酸化マグネシウム錠の無包装状態での安定性試験	西岡 豊	薬剤部	2,000	補委 吉田製薬株式会社
地域統合栄養ケアシステム構築プロジェクト(高知予防医学ネットワーク)	倉本 秋	病院長	19,400	補委 有限責任中間法人高知 予防医学ネットワーク

計

68

(様式第 1 1)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pathology International 56:707-711	Non-cytic solid-pseudopapillary tumor of the pancreas showing nuclear accumulation and activating gene mutation of β -catenin	Nishimori I	第一内科
J Diabetes Complicat 21:56-62	High glucose alone, as well as in combination with proinflammatory cytokines, stimulates nuclear factor kappa-B-mediated transcription in hepatocytes in vitro.	Iwasaki Y	第二内科
Clin Nephrol 67:358-365	Human serum paraoxonase concentration predicts cardiovascular mortality in hemodialysis patients.	Ikedo Y	第二内科
DIABETES Metab Res Rev 23:317-323	High glucose activates pituitary proopiomelanocortin gene expression: possible role of free radical-sensitive transcription factors.	Asaba K	第二内科
Leuk Res, 30(8):1005-11, 2006	HIV-1 protease inhibitor ritonavir potentiates the effect of 1,25-dihydroxyvitamin D3 to induce growth arrest and differentiation of human myeloid leukemia cells via down-regulation of CYP24.	Ikezoe T	第三内科
Int J Oncol, Aug;29(2):453-61, 2006	PC-SPEs down-regulates COX-2 via inhibition of NF-kappaB and C/EBPbeta in non-small cell lung cancer cells.	Ikezoe T	第三内科
Cancer Sci, Sep;97(9):945-51, 2006	Effect of SU11248 on gastrointestinal stromal tumor-T1 cells: enhancement of growth inhibition via inhibition of 3-kinase/Akt/mammalian target of rapamycin signaling.	Ikezoe T	第三内科
Mol Cancer Ther, Oct;5(10):2522-30, 2006	The antitumor effects of sunitinib (formerly SU11248) against a variety of human hematologic malignancies: enhancement of growth inhibition via inhibition of mammalian target of rapamycin signaling.	Ikezoe T	第三内科
Int J Mol Med, 18: 365-373, 2006	Effect of GM-CSF and M-CSF on tumor progression of lung cancer: roles of MEK1/ERK and AKT/PKB pathways.	Uemura Y	第三内科
Circulation Journal	Morphologic characteristics of hypertrophic cardiomyopathy of the elderly with cardiac myosin-binding protein C gene mutations	弘田 隆省	老年病科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Arch Allergy Immunol, 140(suppl 1), 42-50, 2006	CpG Oligodeoxynucleotide Prolongs Eosinophil Survival through Activation of Contaminating B Cell and Plasmacytoid Dendritic Cells in vitro.	Matsumoto K	小児科
Immunity, 25, 1-11, 2006	Human Tyrosine Kinase 2 Deficiency Reveals Its Requisite Roles in Multiple Cytokine Signals Involved in Innate and Acquired Immunity	Minegishi Y,	小児科
日本小児科学会雑誌, 110(11), 1578-1580, 2006	慢性活動性EBウイルス感染症の長期予後について	木村 宏	小児科
Nephron Exp Nephrol 104:112-122, 2006	Effect of selenium on cisplatin-induced nephrotoxicity in rats.	Fujieda M	小児科
日本小児腎不全学会雑誌 26:257-261, 2006	小児腎移植患者のEBウイルス(EBV)負荷量と抗体価の推移	藤枝幹也	小児科
健康教室, 662, 10-13, 2006	特集かぜ・インフルエンザ総論+Q&A インフルエンザと冬季のかぜ/感冒	前田明彦	小児科
日本臨床, 64(3), 609-612, 2006	ヘルペスウイルス学—基礎・臨床研究の進歩— IV. γ ヘルペスウイルス—EBウイルス(EBV)とカポジ肉腫関連ヘルペスウイルス(KSHV)— γ ヘルペスウイルス感染症の疫学 EBV感染症の疫学	前田明彦	小児科
小児科臨床, 59(5), 1031-1036, 2006	予防接種改正と経過措置の変遷—やはり Political willは欠如していないか—	前田明彦	小児科
臨床とウイルス, 34(3), 123-132, 2006	難治性EBウイルス関連疾患の病態と治療 慢性活動性EBウイルス感染症:この10年間で解明されたこと	前田明彦	小児科
Pediatric International, 48, 76-78, 2006	Idiopathic thrombocytopenic purpura associated with helicobacter pylori infection.	Takechi T	小児科
Neurocomputing	Induction of Synaptic Depression by High Frequency Stimulation in Area CA1 of the Rat Hippocampus	Kunio Kato	神経科精神科
Brain Mechanisms and Clinical Implications	Studies of Pathophysiology of PTSD Using the SPS Model	Kato K	神経科精神科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Psychiatry Clin Neurosci	Medical cost analysis of family psychoeducation for schizophrenia	Shimodera S	神経科精神科
Psychosis	非定型精神病薬の使用に際しての心理教育的家族療法	下寺信次	神経科精神科
公衆衛生	認知症—予防とケアの最前線 認知症高齢者の自動車運転と権利擁護に関する研究	上村直人	神経科精神科
J Bulletin of Social Psychiatry	Dementia illness and driving in JAPAN Symposium ; 18 Ethical Challenges Posed by Dementia and Driving	Naoto Kammimura	神経科精神科
西日本皮膚科	血漿交換療法とステロイドパルス療法を併用した天疱瘡治療	中島喜美子	皮膚科
新医療 2006年 4月号	放射線科医として取り組む具体的課題 診療・教育・研究を中心に	小川恭弘	放射線科
分子呼吸器病 (1342-436X) 10 巻 5 号 Page363-367 (2006. 09)	【放射線により肺線維化が引き起こされるその分子病態と制御に迫る】 照射肺の線維化関連分子制御へのアプローチ	西岡明人	放射線科
Oncology Reports 17;915-918, 2007	Diagnostic accuracy of mammography, ultrasonography and magnetic resonance imaging in the detection of intraductal spread of breast cancer following neoadjuvant chemotherapy.	久保田敬	放射線科
Surg. Technol. Int. XV: 37-39	Management of intra-abdominal abscess due to surgical site infection	Kobayashi M	外科 (一)
日鏡外会誌 11: 167-170	腹腔鏡下手術を施行した内視鏡的大腸ポリペクトミー後の閉塞性イレウスの1例	小林道也	外科 (一)
Hepato-Gastroenterol (in press)	Pancreatic metastasis from renal cell carcinoma: Report of three resected cases and review of Japanese	Okamoto K	外科 (一)
West Afr J Med 25:242-245	Usefulness of multi-detector row computed tomography for accurate preoperative assessment of pancreatic adenocarcinoma; Report of a case	Maeda H	外科 (一)
小児科臨床59: 1081-1087	生薬含有健康食品による腹痛症	松岡尚則	外科 (一)
日消外会誌 39: 724-728	空洞を形成した大腸癌肺転移の1例	北川博之	外科 (一)
Surg Today 36:727-732	Complete remission of recurrent gastrointestinal stromal tumor treated with imatinib	Kobayashi M,	外科 (一)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Gastrointest Cancer (in press)	Rapid growth of mucinous cystic adenoma of the pancreas following pregnancy	Kitagawa H,	外科 (一)
World J Gastroenterol12:5357-5359	Autopsy study of anatomical features of the posterior gastric artery for surgical contribution	Okabayashi T,	外科 (一)
Hepatogastroenterology53: 313-316	Clinicopathological features of Type 1 gastric carcinoma: the need to be cautious of superficial lesion surrounding Type 1 gastric carcinoma	Okabayashi T,	外科 (一)
Dig Dis Sci51: 1383-1387	Emergency Pancreatoduodenectomy for Pancreatic Metastasis from Renal Cell Carcinoma in a Patient with von Hippel-Lindau Disease: A Case Report	Maeda H,	外科 (一)
財団法人赤枝医学研究財団	助成研究報告集No. 13 子宮内膜症の発症機序に関わるnatural killer 細胞上 killer cell immunoglobulin-like receptor遺伝子群発現の解析	前田 長正	産科婦人科
Gynecologic Oncology	Primary yolk sac tumor concomitant with carcinosarcoma originating from the endometrium : Case report	Hiroyoshi Ogurii	産科婦人科
産婦人科の実際	～特集～ 内視鏡手術の適応と要約 -治療におけるPros and cons- 多嚢胞性卵巣における腹腔鏡	宇賀神 奈月	産科婦人科
日本産科婦人科内視鏡学会雑誌	腹腔鏡下手術時に診断された子宮内膜症合併卵巣明細胞癌の1例 A case of clear cell carcinoma arised from ovarian endometriosis diagnosed at laparoscopic surgery	林 和俊	産科婦人科
臨床婦人科産科	ピル-エビデンスに基づいて新ガイドラインを読み解く 【ピルの副作用と新ガイドライン2 動脈系疾患】 ピルと心筋梗塞	西森 左和	産科婦人科
老年精神医学雑誌	高齢者の睡眠と概日リズム 睡眠・概日リズムに影響するホルモン変化	林 和俊	産科婦人科
臨床整形外科 41(4): 355-359, 2006	圧迫性脊髄症における下肢運動機能評価	石田健司	整形外科
臨床整形外科 41(4): 423-430, 2006	術中電気診断法に基づいた単椎間頸椎前方除圧固定術の中期成績 一椎弓切除術との比較検討一	牛田享宏	整形外科
Circulation 113: 634-639, 2006	Artificial Baroreflex Clinical Application of a Bionic Baroreflex System.	FumiyasuYAMASAKI	整形外科
整形・災害外科 49(7): 795-805, 2006	骨粗鬆症性椎体骨折に対するリン酸カルシウムセメントを用いた椎体形成術	武政龍一	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
関節外科 基礎と臨床 25(6): 40-44, 2006	家庭用乗馬ロボット“ジョウバ”の有用性 ー筋力増強効果・平衡機能効果の側面からー	石田健司	整形外科
Acta Orthopaedica 77(4): 603-606, 2006.	Safe zone for the superior gluteal nerve in the transgluteal approach to the dysplastic hip: intraoperative evaluation using a nerve stimulator.	Ikeuchi M	整形外科
Arthroscopy : The Journal of Arthroscopic and Related Surgery 22(12): 1368-1369, 2006	Author's Reply to "Meniscal Impingement Syndrome Versus Localized Synovial Hypertrophy?"	Masahiko IKEUCHIのみ	整形外科
ペインクリニック 27(12): 1528-1536, 2006	痛みの脳機能イメージング研究 2) 病的痛み病態と痛み関連脳活動	牛田享宏	整形外科
臨床脳波 48(12): 739- 745, 2006	上行性および下行性脊髄誘発電位による圧迫性頸髄症の障害高位診断	谷 俊一	整形外科
日本整形外科学会雑誌 80(12): 957-969, 2006	教育研修講座 高齢者骨粗鬆症性椎体骨折の問題点と対策	武政龍一	整形外科
日本手の外科学会雑誌 23(3): 237-241, 2006	TESを利用した手指腱再建術の試み	野口政隆	整形外科
Supplements to Clinical Neurophysiology 59: 265-274, 2006	Partial conduction block in cervical compression myelopathies: waveform changes of ascending spinal evoked potentials.	Toshikazu TANI	整形外科
Journal of Bone and Joint Surgery 89B(1): 45-49, 2007	Determining the rotational alignment of the tibial component at total knee replacement.	M. Ikeuchi	整形外科
脊椎脊髄ジャーナル 20(3): 223-232, 2007	頰椎・頰髄疾患の電気生理学的神経機能評価	谷 俊一	整形外科
日本手の外科学会雑誌 23(4): 520-523, 2006	上肢における非定型抗酸菌感染症	野口政隆	整形外科
日本マイクロサージャ リー学会会誌 19(1): 35- 39, 2006	腕神経叢損傷における肘屈曲機能再建術の検討	野口政隆	整形外科
PAIN RESEARCH 21(3): 117-125, 2006	表在性疼痛と深部疼痛の脳内認知機構に関する研究 FMRI study	牛田享宏	整形外科
PAIN RESEARCH 21(3): 127-132, 2006	股関節の神経支配と股関節関連痛に関する臨床的検討	牛田享宏	整形外科
関節外科 26(2): 216- 219, 2006	上肢における非定型抗酸菌感染症	野口政隆	整形外科
臨眼. 60 (1) , 55-58, 2006	内因性ぶどう膜炎の硝子体手術成績	仙頭(近藤)美鈴	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Immunol Lett. 107(1), 32-40, 2006	Modulation of murine experimental allergic conjunctivitis by treatment with alpha-galactosylceramide	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Immunol Lett. 107(2), 119-124, 2006	Analysis of the interaction between IFN-g and IFN-gR in the effector phase of experimental murine allergic conjunctivitis	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Exp Eye Res. 82 (2) , 210-218, 2006	Genetic background determines susceptibility to experimental immune-mediated blepharoconjunctivitis: Comparison of Balb/c and C57BL/6mice.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 47(2), 657-663, 2006	Roles of OX40 in the development of murine experimental allergic conjunctivitis: exacerbation and attenuation by stimulation and blocking of OX40.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Biochem Biophys Res Commun. 339(4), 1048-1055, 2006	TLR2 agonist ameliorates murine experimental allergic conjunctivitis by inducing CD4 positive T-cell apoptosis rather than by affecting the Th1/Th2 balance.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Mol Vis. 12(4), 310-317, 2006	Role of VLA-4 in the development of allergic conjunctivitis in mice.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Clin Experiment Ophthalmol. 34(4), 347-353, 2006	Cyclosporin A inhibits eosinophilic infiltration into the conjunctiva mediated by type IV allergic reactions.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Curr Opin Allergy Clin Immunol. 6(5), 361-366, 2006	Role of suppressor of cytokine signaling in ocular allergy.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Br J Ophthalmol. 90(8), 1040-1045, 2006	Involvement of programmed death-ligand 2 (PD-L2) in the development of experimental allergic conjunctivitis in mice.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Microbiol Immunol. 50(9), 719-728, 2006	CD8+ T cells play disparate roles in the induction and the effector phases of murine experimental allergic conjunctivitis.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Br J Ophthalmol. 90(12), 1535-1541, 2006	IL-10 and TGF- β contribute to the development of experimentally-induced allergic conjunctivitis in mice during the effector phase.	Fukushima A. (福島敦樹)	眼科
Trends in Cancer Research	Development of gene therapy for malignant gliomas using high-titer retroviral vectors.	Shimizu K	脳神経外科
Journal of Clinical Pathology	Prognostic significance of CDC25B expression in gliomas.	Nakabayashi H	脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Developmental Biology	Olig2-positive progenitors in the embryonic spinal cord give rise not only to motoneurons and oligodendrocytes, but also to a subset of astrocytes and ependymal cells.	Masahira N	脳神経外科
Developmental Biology	Involvement of the Olig2 transcription factor in cholinergic neuron development of the basal forebrain.	Masahira N	脳神経外科
Cancer Letters	Clinico-pathological significance of RCAS1 expression in gliomas: A potential mechanism of tumor immune escape.	Nakabayashi H	脳神経外科
Pancreas. 2006 Nov;33(4):382-5.	Clinical characteristics of pancreatic neuroendocrine tumors in Japanese patients with von Hippel-Lindau disease.	Yamasaki I	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol. 2006 Jun;36(6):337-43.	Von Hippel-Lindau disease: molecular pathological basis, clinical criteria, genetic testing, clinical features of tumors and treatment.	Yamasaki I	泌尿器科
Cancer Res	Tight junction protein claudin-I enhances the invasive activity of oral squamous cell carcinoma cells by promoting cleavage of laminin-5 α 2 chain via matrix metalloproteinase (MMP)-2 and membrane-type MMP1	Oku Naohisa	歯科口腔外科
Oral Oncology	Concomitant chemo-radio-immunotherapy has a lethal therapeutic effect on tongue carcinomas independent of the clinical stage and histological characteristics of the tumor	Tetsuya Yamamoto	歯科口腔外科
口腔組織培養学会誌	緑茶カテキンの正常上皮細胞および口腔扁平上皮癌細胞に対する異なる作用—正常上皮細胞におけるp57kip2を介するアポトーシス回避機構—	山本哲也	歯科口腔外科
Int. J. Cancer	The involvement of hypoxia-inducible factor-1 α in the susceptibility to γ -rays and chemotherapeutic drugs of oral squamous cell carcinoma cells	Eri Sasabe	歯科口腔外科
日本口腔科学会雑誌	偽膜性口腔カンジダ症を対象としたイトラコナゾールの使用経験	植田 栄作	歯科口腔外科
日本口腔科学会雑誌	扁平上皮癌のアポトーシス誘導における活性酸素の役割	山本哲也	歯科口腔外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Toxicology and Applied Pharmacology	EGCG-targeted p57/kip2 reduces tumorigenicity of oral carcinoma cells:role of c-Jun N-terminal Kinase	Tetsuya Yamamoto	歯科口腔外科
プライマリ・ケア	高齢者経管栄養に対する介護従事者の意識調査 高知県介護サービス提供事業所へのアンケート結果より	山崎史	総合診療部
Leukemia Research	Comparative analysis of hypermethylation of cell cycle control and DNA-mismatch repair genes in low-density and CD34+ bone marrow cells from patients with myelodysplastic syndrome	Seisho Takeuchi	総合診療部
J Infect Dis	Secretory IgA, salivary peroxidase, and catalase-mediated microbicidal activity during hydrogen peroxide catabolism in viridans streptococci: pathogen coaggregation	Yoshio Uehara	総合診療部
画像情報システムおよび電子カルテの構築報告集	画像情報システムおよび電子カルテの構築	濱田典彦	放射線部
Spec Care Dentist	Reduction in incidence of methicillin-resistant Staphylococcus aureus (MRSA) after radical surgery for head and neck cancer.	Morimoto Y	検査部
Rinsho Byori	Holter electrocardiogram network system to support regional medical care	Doi T	検査部
薬局(別冊), 56, 801-817, 2006	病気と薬の説明ガイド2006-その他の抗菌薬	京谷庄二郎	薬剤部
医学大辞典 第19版 2006年3月発行	Medical Dictionary	西岡 豊	薬剤部

計

100

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 倉本 秋		
管理担当者氏名	総務管理課長 医療サービス課長 薬剤部長 放射線部長	林 勝幸 田辺 鉄太郎 西岡 豊 小川 恭弘	医療安全管理部長 谷 俊一

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療サービス課（病歴室）及び薬剤部並びに放射線部	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に一患者一ファイル方式とし、エックス線写真は一患者一ファイル方式で共にコンピュータによる集中管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務管理課	
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学生・研究支援課	
	高度の医療の研修の実績	総務管理課	
	閲覧実績	総務管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営企画課及び薬剤部		
確規保則の第9条の2、3及び11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策チーム	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医学部・病院事務部長 溝口 陸奥夫
閲覧担当者氏名	総務管理課長 林 勝幸
閲覧の求めに応じる場所	医療サービス課 医事相談室

○ 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	62.2 %	算定期間	平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日
算出根拠	A：紹介患者の数		7,665 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		5,459 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		413 人
	D：初診の患者の数		16,279 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の設置状況	有 (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (2) 名 活動の主な内容 (医療安全管理部規則) (1) 安全管理のための指針の整備及び情報収集に関すること。 (2) 重要な検討内容について、患者への対応状況を含め病院長へ報告すること。 (3) 重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに職員への周知を図ること。 (4) 医療事故の防止及び対策に係る調査・分析に関すること。 (5) 改善策を立案すること。 (6) 改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。 (7) 安全管理に関する教育・研修に関すること。 (8) 安全管理に関する連絡調整に関すること。 (9) その他安全管理に関すること。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
指針の主な内容 (本院の安全管理のための指針) ・ 安全管理に関する基本的考え方 (安全管理の体制確保という総合的観点から) ・ 医療に係る安全管理のための委員会その他組織に関する基本的事項 ・ 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 ・ 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ・ 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ・ 患者さんや第三者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 6 回
活動の主な内容 (リスクマネジメント代表者会議内規) (1) 高知大学医学部附属病院医療安全管理部規則 (平成 16 年 5 月 26 日施行) 第 3 条に定める事項。 (2) 報告のあったインシデントの分析及び影響度レベルの判定に関すること。 (3) 判定した影響度レベルが 3 b 以上のものについて、医療問題調査委員会への報告に関すること。 (4) インシデントごとの解決策及び再発防止策等の企画・立案に関すること。 (5) 医療安全管理体制システム及びマニュアルの見直しに関すること。 (6) 研修会等の企画・立案に関すること。 (7) 協議事項の結果をリスクマネジメント担当者会議に周知徹底すること。 (8) その他安全管理に関すること。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 0 回
研修の主な内容：安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について実施 医療事故防止の基本的な考え方、本院の安全管理体制、インシデント報告システム、本院の感染対策の状況と動向、造影剤の副作用とリスクマネジメント、医療事故の法律問題と事故への対応 等	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無) その他改善のための方策の主な内容 ・ 報告事例の分析を行い、事例に対応する事故防止のための研修会の開催、マニュアルの追加 ・ 医療機器の不具合情報を厚生労働省に報告するとともに院内にもリスクマネジメントニュースとして周知 ・ 報道された医療事故等の要約を全部署に配布し、事故防止について注意喚起している。 ・ 病棟巡視を行い、その結果を病棟に示し注意・改善を喚起している。	